

2026年3月11日

妊娠12週以降の人工妊娠中絶および子宮内胎児死亡による分娩における支援ニーズと
助産師によるグリーフケア実践の実態

◆研究の目的と概要◆

当院では妊娠12週以降の人工妊娠中絶および子宮内胎児死亡による分娩を経験された方が、どのような支えを必要とされていたか、助産師がどのようなケアを行ったかを把握し、今後のケアの向上につなげることを目的として研究を行っています。

◆対象となる患者さん◆

2023年1月から2025年12月の間に、当院で妊娠12週以降の人工妊娠中絶および子宮内胎児死亡による分娩のために入院された方を対象とします。

◆研究に使用される情報・試料◆

対象となる方の年齢、妊娠週数、初産・経産の別、これまでの妊娠歴、妊娠の終結理由、心理士介入の有無に加え、助産師が記載した看護記録の内容を研究に使用します。

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

産婦人科 研究責任者 中正 成美

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明